

平成31年第4回定例公安委員会会議録

開催日時 平成31年2月7日(木) 午前11時15分～午後5時15分

開催場所 警察本部

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時15分

2 出席者

公安委員会 増谷委員長 小谷委員 衣笠委員

警察本部 佐野警察本部長 伊貝警務部長 灘部首席監察官
青木生活安全部長 清水刑事部長 中林交通部長
岸田警備部長 妹尾情報通信部長 加藤警務部参事官
桑田浜村警察署長

(事務局等～渡邊公安委員会補佐室長、村田広報官、小谷補佐)

3 議題事項

4 報告事項

- 被疑者取調べの監督の実施状況(平成30年中)(警務部)
- 警察本部長に対する苦情の受理状況(平成30年10月～12月)及び苦情申出制度の運用状況(平成30年中)(警務部)
- 管区警察局による総合・随時監察の受監結果(平成30年度第3四半期)(警務部)
- 懲戒処分等の状況及び随時監察の実施結果(平成30年度第3四半期)(警務部)
- 冬山遭難救助訓練の実施(生活安全部)
- 浜村警察署の取組状況(浜村警察署)

(1) 被疑者取調べの監督の実施状況(平成30年中)(警務部)

警察本部から、平成30年中の被疑者取調べの監督の実施状況及び指導教養状

況等について報告がなされた。

委員

取調べ監督官は、研修等を受けているか。

警察本部

警察庁等による研修を受けたり、全国の事例等を情報共有している。

委員

引き続き、適正な取調べに努めていただきたい。

(2) 警察本部長に対する苦情の受理状況（平成30年10月～12月）及び苦情申出制度の運用状況（平成30年中）（警務部）

警察本部

平成30年10月から12月の警察本部長に対する苦情受理件数は3件で、そのうち指摘事実のあるものは1件であった。

平成30年中の苦情受理件数は、公安委員会宛てが4件、警察本部長宛てが10件で、そのうち指摘事実があるものは6件であった。

委員

改善が必要なものについては速やかに改善するなど、適切な対応をしていただきたい。

委員

苦情に対し丁寧な対応がなされていると思うが、指摘事実があった案件については、同じ指摘を繰り返さないよう指導を徹底していただきたい。

(3) 管区警察局による総合・随時監察の受監結果（平成30年度第3四半期）（警務部）

警察本部から、平成30年度第3四半期の管区警察局による総合・随時監察の受監結果について報告がなされた。

委員

引き続き、基本を遵守した業務推進に努めていただきたい。

(4) 懲戒処分等の状況及び随時監察の実施結果（平成30年度第3四半期）（警務部）

警察本部から、平成30年度第3四半期の懲戒処分等の状況及び随時監察の実施結果について報告がなされた。

委員

他県では、交番や駐在所勤務員が襲撃される事件が発生している。これらの事件を防ぐには緊張感の保持が必要であり、随時監察は、勤務員やその家族を守ることにもつながると思うので、例え小さなことでも、気付いた点があれば指導していただきたい。

(5) 冬山遭難救助訓練の実施（生活安全部）

警察本部

本年1月29日及び30日、大山において冬山遭難救助訓練を実施した。

この訓練は、冬山遭難が発生した際に迅速的確な捜索及び救助活動が行えるよう毎年実施しているものであり、今回は、大山遭難広域救助隊員、機動隊員及び冬山を管轄する警察署の署員を対象に、山岳救助の警察庁指定広域技能指導官、鳥取県山岳・スポーツライミング協会員を講師に招き、実技訓練等を実施した。

1日目は、県山岳協会員及び警察庁指定広域技能指導官による講演のほか、救助資機材取扱要領、低体温症対処要領及びスノーボードを利用した要救助者搬送要領について実技訓練を実施した。

2日目は、雪中歩行訓練、要救助者搬送訓練等を実施した。

参加者からは、「広域技能指導官による指導を受け、救助活動における安全確保の意識が高まった。」といった意見のほか、「冬山における要救助者の生存率を高める低体温症ラッピング法などの遭難者救助方法と、救助時の自分自身を守る技術を身に付けることができ、大変参考になった。」等の反響があった。

委員

大山以外でも山岳救助の訓練は実施しているか。

警察本部

山岳遭難の多くが大山で発生していることから大山を中心に訓練を実施しているが、例えば、氷ノ山であれば管轄する郡家警察署においても訓練を実施している。

委員

本年は、山岳遭難の発生はあるか。

警察本部

現在のところは無い。

委員

大変な訓練ではあるが、山岳遭難の発生に備え、必要な訓練である。実際に出動する際は、二次遭難に気を付けていただきたい。

(6) 浜村警察署の取組状況（浜村警察署）

浜村警察署

当署は小規模警察署ではあるが、その利点を生かし、「小さいを強さに変えた継続性、効率性、実効性の追求」により、総合力を発揮することを基本方針とし、業務に当たっている。

主な取組として、浜村警察署協議会から、「警察官による講習の依頼方法等を地域住民に情報発信してはどうか。」との提言を受け広報紙による情報提供を行ったところ、反響が大きく、講習実施件数、受講者数とも前年を上回った。

また、管内の交通要点に赤色灯を点灯させたパトカーを配置しての街頭監視活動である「レッド作戦」を薄暮時間帯に実施しているが、これは、交通事故抑止対策の観点だけでなく、通学路危険箇所に対する警戒活動と連動して実施している。

今後も地域の特性や要望に合わせ、各種活動を行っていきたい。

委員

広報紙は、どの程度配布しているか。

浜村警察署

各戸配布の時もあれば、公民館等に配布する場合もある。

委員

多くの方が広報紙を目にする機会があり、良いと思う。

委員

鳥取西道路が開通すれば交通の流れが変化することが予想される。引き続き、変化に柔軟に対応するなど、地域の安全のためにしっかりと頑張っていただきたい。

5 その他

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取2件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞2件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 事前説明

- ・被疑者取調べの監督の実施状況（平成30年中）
- ・「平成30年政策評価報告書」及び「平成31年推進・評価計画書」の策定

4 報告事項

- ・県下管内凶コンクールの実施について
- ・公用車交通事故の発生状況

5 決裁

鳥取県公安委員会大規模な自然災害等緊急事態発生時の対応に関する規程

6 視察等

- ・鑑識課
- ・郡家警察署船岡駐在所
- ・取調べ監督状況
- ・特殊詐欺関与防止DVD視聴
- ・永年勤続職員等表彰式出席

7 公安委員会委員間の事前検討・協議等

8 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。